令和6年度 学校だより

令和7年1月31日 長崎市立飽浦小学校 発行 校長 松尾伸章

ᡮ-仏ページアドレス www.nagasaki-city.ed.jp/akunoura-e/

2月になります。新潟県育ちの仏文学者、堀口大学さんは、「太陽暦の作者は、雪国に親切だ った。果てしなく思える(厳しい寒さに耐え忍ぶ)2月だけど、1年で最も短い日数で終われる から。」と書いています。

まだまだ寒さが残る2月ですが、我が家の裏手にある梅の木を眺めると、少しずつその花の色 がつき始めています。梅の異称は「春告草(はるつげぐさ)」です。春はそこまで来ています。

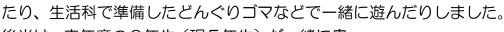
2月を「光の春」「春どなり」と呼ぶように、それぞれの子供にも春が訪れる2月にしていき たいと考えています。

親愛園さんとの最後の交流

1月28日(火)に、次年度新1年生となる親愛園の園 児さんたち7名が、飽浦小へ体験交流にやってきました。



まずは、現1年生が一緒に転が しドッジボールをしたり、「おむす びころりん」の音読劇をしてみせ

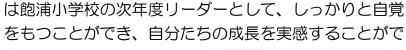


後半は、来年度の6年生(現5年生)が一緒に鬼 ごっこをしたり、クイズに答えながらの学校探検

に連れて行ったりしました。最後は記念撮影もして、玄関でアーチをつく ってお見送りをしていました。ほのぼのとした、心あたたまる時間でした。



この交流を通して、本校の1年 生は1つ上の先輩として、5年生



きました。新1年生の園児 さんたちにとっても、入学 への喜びや楽しみなど、意



欲を高めてくれたことと思います。次年度、本校への新1年生の入 学予定者数は、現在のところ7名です。そのうち親愛園さんから4 名が入学予定です。入学式が楽しみです。

親愛園さんは、飽浦小学校の母体となる大切な園です。

しかし、残念ながら、親愛園さんは今年度(今年3月まで)で閉園が決まっています。これま で 100 年程のそのすばらしい功績に畏敬の念を抱くとともに、今年度での閉園をたいへん寂し く思うところです。親愛園さん、長い間、たいへんおつかれさまでした。

親愛園さんと交流活動ができるのも今年度が最後でした。親愛園さんから新入生が来るのも 次年度4月の入学式が最後ということになります。今後が心配です。





【2月の行事予定】

3日(月) 安全の日 4年社会科見学

4日(火) 研究授業(なのはな・たんぽぽ) スクールカウンセラー来校日

5日(水) 心の時間 入学説明会(14:15~15:30)

6日(木) チャレンジタイム(国語検定) クラブ活動(3年生見学)

7日(金) あくりゅうクラブ

10日(月) ピースデイ 研究授業(1年)※全学年5校時終了後下校 ※ 丸尾中入学説明会 15:30~16:30(6年生保護者のみ)

11日(火) <建国記念の日>

12日(水) 縦割り活動(屋の活動)

13日(木) チャレンジタイム(運動) 集団下校

14日(金) 避難訓練(予告なし)

16日(日) (家庭の日)

18日(火) 環境 ESD 講座(6年; 3·4校時)

19日(水) 授業参観・懇談会 学校保健委員会

20日(木) チャレンジタイム(算数検定)

21日(金) あくりゅうクラブ

23日(日) <天皇誕生日>

24日(月) <振替休日>

26日(水) 全校集会

27日(木) チャレンジタイム(国語検定) 委員会活動

28日(金) 午前中5時間給食後下校(6日まで)

ちょっとお知らせ、目標達成!

2学期から、チャレンジタイム(運動)の時間には、長縄の8の字 跳びにチャレンジしています。毎回、クラスみんなで一致団結し、自 分たちが決めた目標回数を超えようと頑張って取り組む子供たちの目 が輝いています。1月30日(木)、どのクラスも目標達成、記録更新!





また、今年度は、全校みんなで6000冊以上

の本を読もうと決めていました。1月30日の調べで、見事目標達成!みんなで6167冊。一人平均106冊の本を読んだことになります。

様々な目標に向かってよく頑張るあくのうらっ子たちです。

≪校長室の窓から≫

人は、どのように言葉を獲得していくのか、様々な観点から研究が行われています。その中に、興味深い話がありました。

人は、表情(感情)と音を関連付けて言葉を獲得していくというのです。

初めて赤ちゃんが発する言葉の多くは、赤ちゃんがよく耳にする言葉で、その音を真似て 発していると考えられることが多いようですが、実は、その音を発している人の表情を(感 情)を全身で捉え、心地よい感情と体感した音を獲得しているというのです。

その証拠として、生き物の中で唯一人間の赤ちゃんだけが、単純化した表情マーク(例えばニコニコマーク)に反応するのだそうです。他の動物は、動きのあるもののみに反応しますが、人の赤ちゃんは、良い感情のマークには安心の表情となり、怒りの感情のマークには不安の表情となります。つまり、言葉を音として獲得しているのではなく、感情を表現するコミュニケーションのツールとして獲得しているのです。

LINE 等の SNS トラブルが昨今増加、低年齢化してきています。連絡調整のような伝達機能としては大変便利なツールですが、そこにはその人の表情がありません。トラブルの原因はそこにあるのかもしれません。

人が言葉の意味を表情(感情)と関連付けて理解しているのであれば、顔を合わせて話す ほかに、本意を伝える術はないように思います。